

# 「みなび」の変遷①

## みんなでつくる美術館（「みなび」）

2002(平成14)年度～2006(平成18)年度



みなびワークショップ

2002(平成14年)8月4日（会期2日目）  
当館一般展示室にて



みなび展

2004(平成16)年7月30日～8月12日  
当館ギャラリーCにて

みんなでつくる美術館(略して「みなび」)は2002(平成14)年度、前年まで行われていた「詩と絵のコンクール」をより自由な制作に発展させようと開始した事業である。詩と美術作品の募集・展示の他、参加型のワークショップも行われることで色々な人と交流し、刺激を受けながら新しい創造へと繋げることを目指した。本事業は、以前よりアーティストの団野雅子氏が中心となって行っていた、障がいの有無に関わらず美術を媒介に交流を広げ、美術の楽しさをわかち合えるような活動「詩と絵のコラボレーション展」との共同運営となった。

「みなび」は他にも多くのアーティスト、企業、ボランティアスタッフなどのご協力のもと実現したことも特筆に値する。ロゴデザインなどは版画家の遠藤享氏に制作いただき、また画材やスタッフの昼食も多くの企業からご提供いただいた。現在の「みなび」も、2002年度当初と変わらず、多くの方々よりご支援をいただいて成立している。

## 「みなび」の変遷②

### 新みなび

2007(平成19)年度～2009(平成21)年度

### とびだせ美術館！—アートの種まきワークショップ—

2010(平成22)年度～2012(平成24)年度



とびだせ美術館！ワークショップ

「レッツスタンピング」

2010(平成22)年7月19日

講師：上條志園氏(作家)

大月市民会館にて

2002(平成14)年度から5年間続いた「みなび」に区切りをつけ、  
2007(平成19)年度の「新みなび」からは実行委員会も一新した。「みな  
び」は大人も子どもも、障がいのある人もない人も、作家も一般の方  
も誰もが自由に参加できる展覧会として定着したが、美術館に来な  
ければ参加できないという側面を反省し、「新みなび」では県内の多  
数の会場でワークショップを開催した。

2010(平成22)年度から始まった「とびだせ美術館」では通年をとおしての  
県内各地でワークショップや、「川」「山」「空」といった明確なテーマ  
をもって取り組むことなど、今までの活動をさらに展開させた。

# 「みなび」の変遷③

## みんなでつくる美術館

2013(平成25)年度～2018(平成30)年度



みなびワークショップ  
「みんなでつくる『街なか樂書展』」  
2013(平成25)年7月21日  
講師:長田明稜氏(書家)  
甲府市オリオン通り商店街にて



みなびワークショップ  
「アート・ジャングル！山梨県立美術館！」  
2016(平成28)年7月26日  
講師:茂井健司氏(現代美術家)  
当館ワークショップ室、ギャラリーエコーにて

2013(平成25)年度からは再び「みんなでつくる美術館」という名称に戻して、3年間取り組む大きなテーマと、1年ごとに取り組む小テーマを設けて夏期を中心に開催している。県立美術館を主会場とし、様々なアーティストをお招きした誰もが参加できるワークショップをとおして、1つの展覧会を作り上げていくプロジェクトとした。

2013(平成25)年度～2015(平成27)年度  
「アートではっけん！」  
2013 (平成25) 年度 「つなぐ」  
2014 (平成26) 年度 「ミレーを知ろう！」  
2015 (平成27) 年度 「おくりもの」

2016(平成28)年度～2018(平成30)年度  
「『しっぱい』は『せいこう』のもと」  
2016 (平成28) 年度 ドキドキ、ワクワク  
2017 (平成29) 年度 Try! Try! Try!  
2018 (平成30) 年度 アイデアいっぱい 夢いっぱい